

(株) Xiberlinc

日台AIメンタルヘルス・イノベーション・イニシアティブ：
メンタルヘルス分野における日本市場展開を見据えたAIカウンセラーソリューションの実証

本事業の目的・背景

事業分野概要：

AI（会話型AI）×デジタル・メンタルヘルスに基づくソリューションの日本国内での実証検証を目的に、認知行動療法（CBT）に基づく、心理的サポートをスマホ用アプリで提供し、継続利用を促進を図る。

課題・ニーズ：

支援需要増に対する専門職人材不足、受療の遅延及び対人相談への遠慮等の社会的、文化的課題がある。日本文化への最適化を通じて、本AIカウンセラーアプリによるメンタルヘルスへの効用の確認が必須。

推定される検証結果（手法）：

日本語版UIの開発、緊急時ホットラインの選定、対象者からの各種データ（質問紙・音声・脳波等）の経時的観測収集により、音声感情指標および脳波で心理状態の定量把握とリスク兆候検出を検証。

ユニークポイント：

- ①日本人心理士・精神科医らの専門家知見をAIが学習
- ②対話中の音声特徴量から感情のメンタルヘルス重症度を推定
- ③必要時には対人支援へ接続する安全設計

実施内容

Xiberlinc社（東京都）

- ①AI学習用データ作成&翻訳
- ②データ収集
- ③心理・脳波解析・評価

Bamboo Technology社（台湾）

- ①仕様共有
- ②日本語版アプリ作成
- ③音声データ評価



共同：仕様の確認、日本市場向け改善案策定&共同開発の検討

（2025年8月～2026年1月）

- 8月：面談・実験内容擦り合わせ・倫理準備・募集企業面談
- 9月：ホットライン選定・CBT翻訳共有・アプリ導入/仕様確認
- 10月：日本語UI言語修正・Android/iOS動作確認・マニュアル作成
- 11月：参加者リクルート・計測実験開始
- 12月：48名計測完了・データ整合性確認・各種データ解析
- 1月：結果の取りまとめ及びMOUへの協議

(株) Xiberlinc

日台AIメンタルヘルス・イノベーション・イニシアティブ：
メンタルヘルス分野における日本市場展開を見据えたAIカウンセラーソリューションの実証

検証結果（成果）

アプリ開発

日本人カウンセラーの専門家（臨床心理士・精神科医）の協力を得てAI学習に必要なCBT関連資料（国内事例や対話例）を整理した。心理専門家らのノウハウを学習させたAIを開発・実装した。翻訳整合性を確認し日本語版のAI対話表現の微修正を完了した。Android/iOS両環境での動作確認を完了し、マニュアルを整備した。安全配慮として国内で利用可能なホットラインを調査・比較し、万が一に備えた導線として採用する窓口を選定した。

実証実験

倫理手続および実験参加者の募集体制を構築し、リクルートした。結果48名が実証実験に参加し、アプリを8週間継続利用してもらい、事前事後の脳波・心理質問紙等のデータ計測を完了。

解析結果

心理質問紙から、有意かつ大きな効果のある効用を確認できた。音声・質問紙等の提出データについて整合性確認を実施した。音声データ解析から、心理状態の定量把握とリスク兆候検出に一定の結果が得られた。脳波データから、メンタルヘルス（心理特性）の事前事後の変化と相関する、因果関係に寄与する脳波指標が特定され、解析を継続中

検証結果（課題）・解決策

課題

日本語版CBT資料（AI学習用）の作成に想定以上の時間を要したこと、ならびに日本語表記・表示修正等の追加工数によりアプリ最終版の完成が遅延した。それに準じて被験者リクルート及び実験開始が想定より遅れた、解析取りまとめが期間最終月までかかってしまい、応用解析などの十分な検証は順延となった。

解決策

検証の成功を受けて、BambooTechnology社と仕様確認・改修を継続し、翻訳整合性確認と動作検証を優先して品質を確保するとともに、追加実験及び統合解析の継続を決定した。

今後の活動予定

実証で得られた知見を踏まえ、日本市場向けの製品仕様を確定し、追加実験および統合解析を継続する予定である。

拠点設立：事業化の進捗に合わせて合同の日本法人設立を検討し、国内での営業・運用・研究連携体制を整備する。

ビジネスモデル：企業向け導入（従業員支援・福利厚生）および自治体・公的機関向けの実装を軸に導入を進め、段階的に課金プランを整備して収益化を図る方針である。

MOU：台湾協業先との共同開発・提携を継続し、日本で確立した運用モデルを基に、台湾等の周辺地域を含む海外展開も検討する。